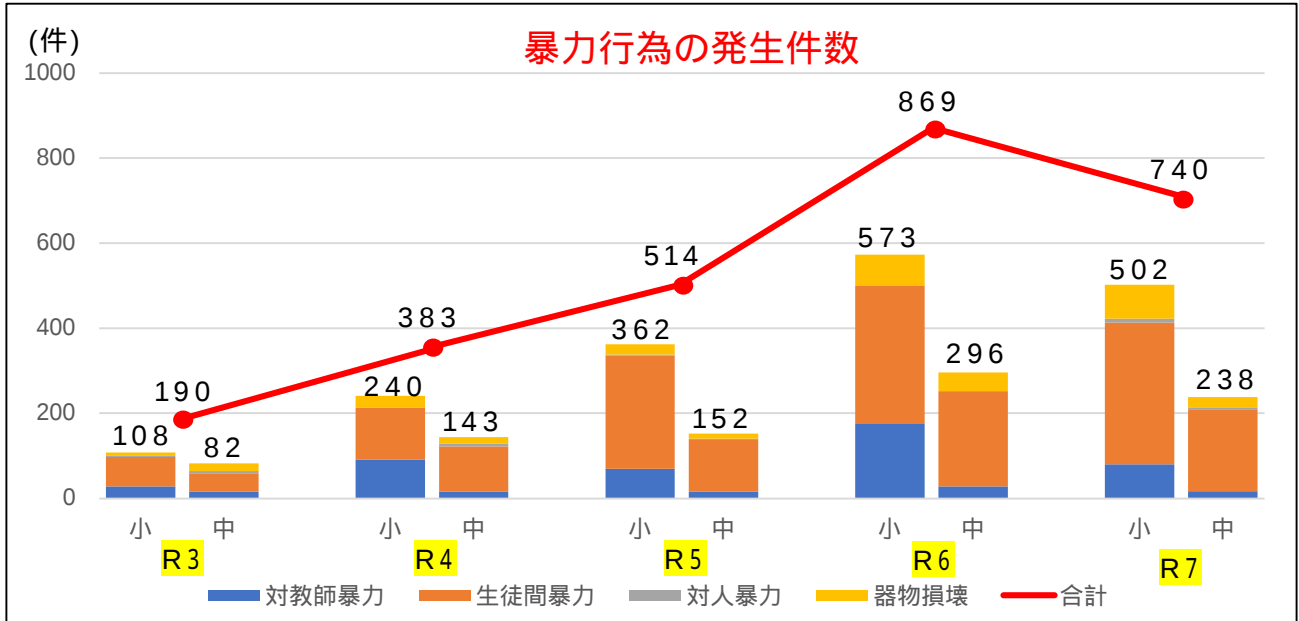


令和8年6月25日

教育委員会事務局総合支援課

「令和7年度生徒指導状況報告」の結果について

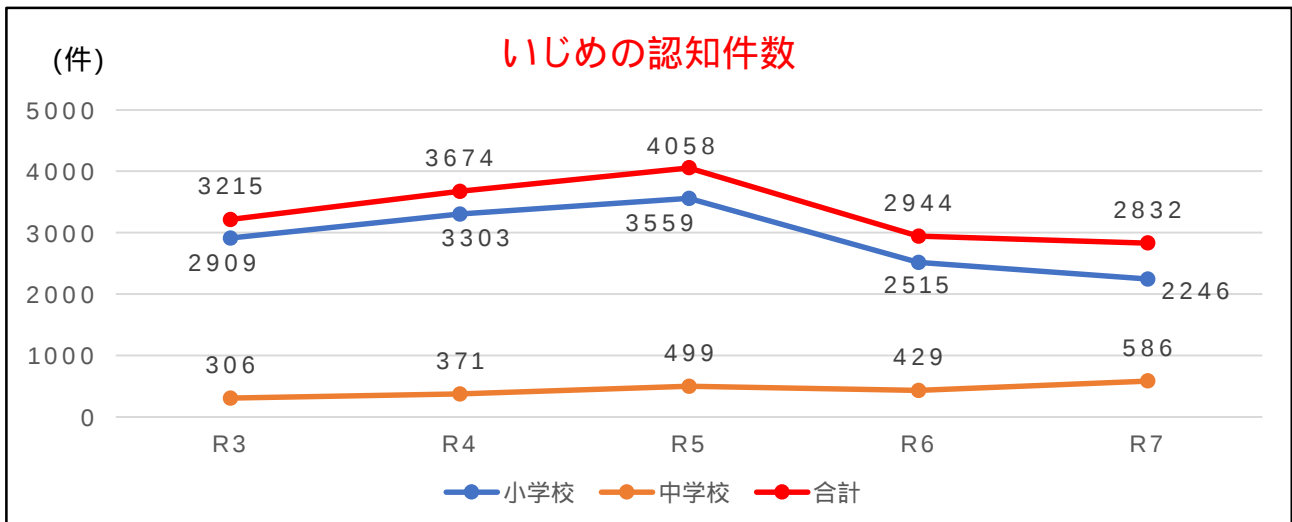
1 暴力行為(対教師暴力、生徒間暴力、対人暴力、器物損壊)の状況について



○発生件数における小・中学校の内訳は小学校502件(-71件)【対教師暴力80件(-95件)、生徒間暴力333件(+7件)、対人暴力9件(+9件)、器物損壊80件(+8件)】、中学校238件(-58件)【対教師暴力17件(-11件)、生徒間暴力192件(-30件)、対人暴力5件(+3件)、器物損壊24件(-20件)】である。

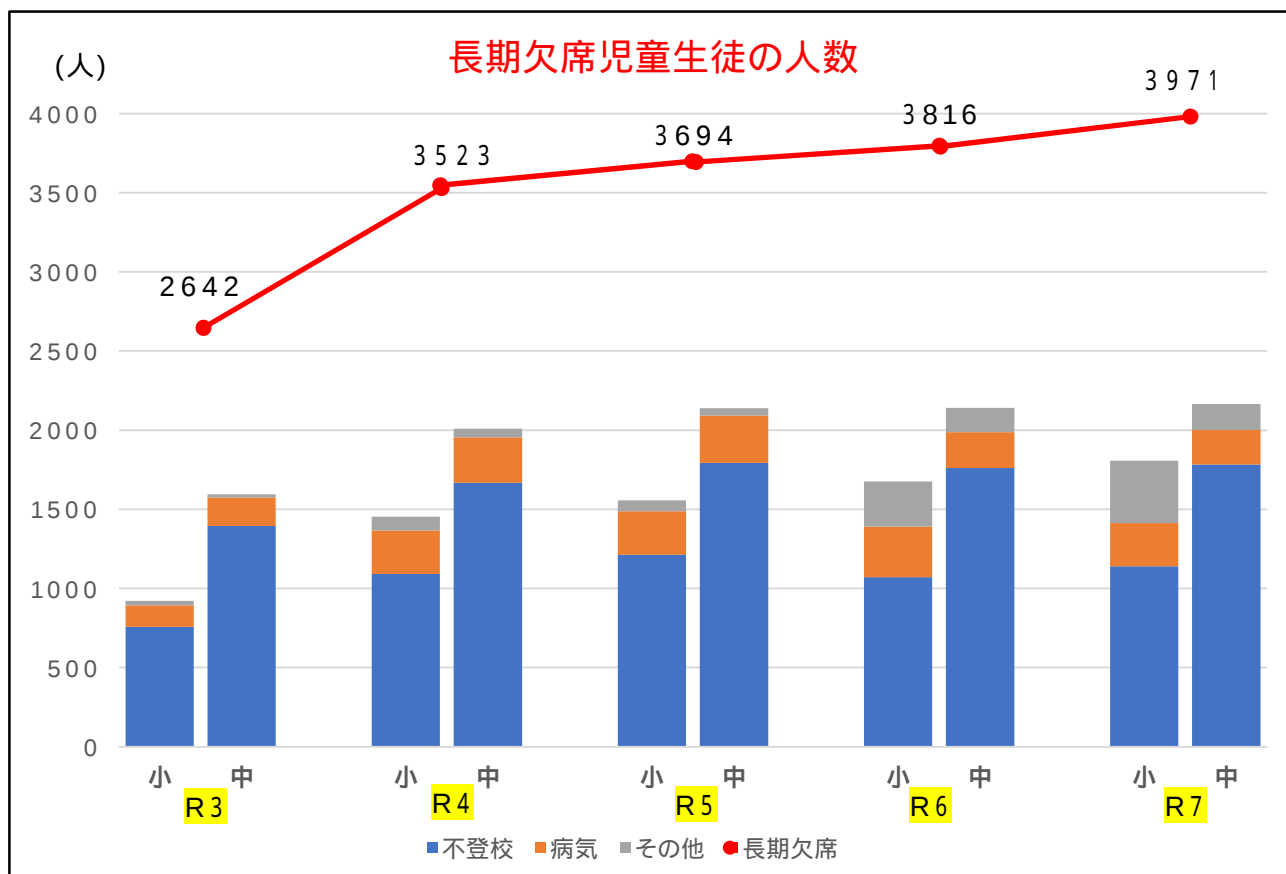
()内は前年度との比較

2 いじめの状況について



○令和6年度は令和5年度から約1,100件減少し、令和7年度は前年度に比べてさらに約100件減少した。校種別において、小学校では269件の減少が見られ、中学校では157件増加した。令和7年12月に実施した「熊本市心のアンケート(無記名式)」で「いじめられたことがある」と回答した児童生徒数は4,123人(小3,729人、中394人)で、令和7年度の学校の認知件数は2,832人(小2,246人、中586人)であり、児童生徒との認知に差がある。いじめを積極的に認知していくことが、いじめの深刻化の防止につながっていくことを生徒指導主任・主事会等で啓発していく必要がある。

3 長期欠席児童生徒の状況について



	R3		R4		R5		R6		R7	
	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中
不登校	757	1395	1092	1668	1213	1792	1072	1761	1140	1782
病気	136	179	274	287	275	301	319	226	272	220
感染回避	87	40	49	12						
その他	28	20	87	54	68	45	285	153	395	162
校種別合計	1008	1634	1502	2021	1556	2138	1676	2140	1807	2164
長期欠席	2642		3523		3694		3816		3971	

○令和7年度はスクールカウンセラー50人、スクールソーシャルワーカー21人、不登校対策サポーター21人を配置し、不登校の未然防止、早期発見及び関係機関につなぐ体制づくりに努めてきた。令和8年度は不登校対策サポーターを22人(+1人)配置している。

○教育支援センターフレンドリーを6か所設置し、児童生徒の居場所づくりを行っている。正式通所人数は75人で、内訳は小学生34人(+4人)、中学生41人(-3人)である。

○大学生が長期欠席児童生徒の話し相手や遊び相手になるユア・フレンド事業も継続して実施している。活用人数は316人で、内訳は小学生135人(-25人)、中学生181人(-27人)である。

○フレンドリーオンラインは本格実施5年目となり、長期欠席児童生徒の心の居場所づくりと学習機会の保障に努めている。申込者は483人で、内訳は小学生159人(+24人)、中学生324人(-28人)である。

()内は前年度との比較